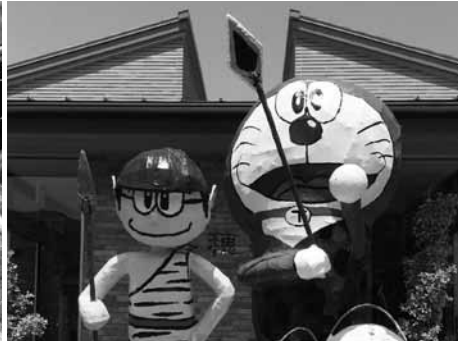




おちほ

第85号 平成28年7月15日 発行 社会福祉法人 椎の木会 落穂寮 発行者 太田正則
TEL 0748-77-2299 FAX 0748-77-5588 <http://ochiho.noor.jp/>



5月1日は氏神祭。地域の皆様にとって大切な氏神様へのお祀りの日であると思います。

もちろん落穂寮にとっても氏神祭は特別な日であり、さらには落穂寮の誕生した日でもあります。今年も夜な夜な頑張る職員の汗と涙(?)と魂が込められた落穂寮の御神輿。氏神祭が落穂寮の誕生日と同じ日だという事にちなみ、今年上映の「ドラえもん新・のび太の日本誕生」とを掛け合わせ、ドラえもんとのび太君の素敵な御神輿が完成しました。

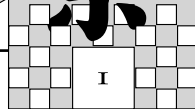
当日はお天気にも恵まれ、皆様にご挨拶しに行くには最高の祭日となりました。重たい御神輿をみんな

氏神祭

なで協力して担いだり引つ張ったり、少し坂を頑張って登らないといけません。東寺グラウンドを目指し「わっしょい」「わっしょい」。すれちがう地域の皆様からも「がんばれ!」と暖かいご声援をいただき、掛け声はどんどん大きくなっていきます。

東寺グラウンドに到着し、一麦さん、近江学園さんとそれぞれの自慢の御神輿を紹介し合い、お互いに拍手と声援が送られました。ジュースを飲みながら一息つき、帰りの元気をチャージ!氏神様、今年もどうぞよろしくお願ひします。

祭



ギャラリーの作品たち

理事長 山下陽一

ギャラリーができる

今年(二〇一六年)四月、落穂寮の石部町移転後まもなく建築した「作業棟」を改装しましたが、その中に作品展示の場所を造りました。いままでは作品が自然に近い状態で出ているものだから、自然の中に配置する方がふさわしいと思って、野辺に作品を置き壊れたものはストックしてあるものをその都度置き換えるということを続けてきました。これはこれで味わいのある作品展示だと思っています。

新しい「ギャラリー」では作品を鑑賞していただくため少しでも展示効果を上げる工夫が必要です。作品の持つ素朴さや迫力をどのように伝えるのかこれからの課題となりました。今まで落穂寮を利用している人たちの独自の創作作品をいろいろな場所で紹介してきましたが、このギャラリーでも完成度の高い展示にしたいと思っています。一人ひとりの持つそれぞれの世界を限られた場所でもなく皆さんの作品を違和感なく展示することは結構難しいものがあるようです。

一つひとつをこことおしむ

それぞれの作品たちは日常でありなじみのない形や色をしています。以

前の展覧会で体験したのですが、クレパスでスカートをはいた女の子が描いているのですが小さい丸を画面いっぱい書き込んでいました。また、長さ二十センチほどの粘土の棒の先に左右二つの丸い玉をくっつけているものがありました。作者は制作のとき何かを思ってこんなことをしたのでしようがなかなかその気持ちがわかりません。しかし、そのような作品をじっと観ているうちに作者の日常の様子が彷彿させられ思わず笑ったり、なるほどと頷くことがあります。その時の作者の一生懸命な様子がとてもいじらしく感じられたりします。作者と鑑賞者の共感とか共鳴というのとはこんなことをいうのではないのでしょうか。制作時に傍で見ていた人はその時の様子が彷彿することでしょう。まさに作品一点一点が「いとおしい」感覚で満たされるということだと思います。

ゴッホの作品が売れたのは生前に一点だけだったといわれています。彼の生前の画業はまったく評価されないうまま亡くなりました。評価されなかつたゴッホの作品を画商でもあった弟テオは大切に扱いました。テオにとっては作品の一点一点が想い出の詰まったものだったのではないのでしょうか。美術商品としての価値より兄ゴッホの生前を彷彿させるものだったのでしょうか。テオは兄の作品をいとおしみ家族にそれを託してゴッホの後を追うように亡くなりました。それを引き継いで世間に紹介したのは残された家族でした。ただ作品をいとおしみ守ったことが世界の貴重な遺産となってきたきっかけでした。

ないがしろにしていけないか

一部の作品は美術品として高い評価を受け国内外において高額な値段で売買されています。これらの作品の値段は需要と供給という市場原理が働いて決まっていると考えられます。問題はまさにこれで需給関係には作者や作品の持つ「深み」とか作品に対する「いとおしみ」などが内に含まれる余地がないということなのです。これは作者や作品の本質を「ないがしろ」にしているのではないかと。またこれは「いとおしみ」とは真逆の関係にあるのではないかとということです。

さらに作品の真実の姿に接する際の妨げになるものは、美術史の系統における位置付けなどを知的に理解しようという姿勢です。脳の進化の観点に立つと人類の初歩の段階にあった数万年前の脳による認識の様子が当時からワープして現在に現れていると考えてよいでしょう。それを体系化された後数百年を経た美術史が評価する時の「物指し」として役割を果たすのだろうかと思っています。

研ぎ澄まされたころに

作品と鑑賞者の間に知識や市場原理

を介在させないで直接に作品に接することというのは具体的にはどうすることでしょうか。

京都市美術館で今年も十一月に「土と色展」を開催する予定をしています。過去の展覧会において作家、美術教育関係者などの皆さんに観ていただきました。そのなかで主催者としてとりわけ印象に残っている方がいます。大学で美術を教えている先生ですが、作品を鑑賞するとき、ホールの床に置いてある作品について、ご自身が床にはいづくばって作品を鑑賞しているのです。一つひとつの作品を深い「いとおしみ」をもって接しておられる様子で、その光景は異様な迫力を伴っていました。

表現された作品の色や形の奥にある「深み」に接したとき初めて作者からメッセージが伝わってきます。作品が鑑賞者の方に歩み寄ってくれるという感じですが、何を感ずるかは各個人の持っているアンテナの鋭敏さによるのですがその感度は百人百様です。

時代を超えて生き続ける作品に接するとき、形・色・音などその作品が発しているオーラのようなものを感じ取るのは、本物を見極めたいという「ころ」を研ぎ澄ましておく必要があります。作品と「応答・共鳴」するには、こちらの受け入れる容量がどれ程かということに掛ってきます。それは螺旋階段のように際限なく深まるもので、作品はこちらの器量に応じた相(すがた)を現してくれるということでしょうか。自分の感性を研ぎ澄ます程にその味わいを深めることができるという課題が前途に控えているというわけですね。

真摯に向き合おうこと

寮長 太田 正 則

四月十四日の熊本地震から今日で二ヶ月が経ちました。今回も人間の想定からかけ離れた揺れ方で、二回目の地震が本震となり、その時にお亡くなりになられた方が多かったとのこと。その後の余震も未だに多く、日本全国この地域でも安心していられるところが少ないぐらいです。被災された多くの福祉施設では、そんな中でも利用者さんの生活を支援されており、当寮の現状を考えると、どのような対応ができるのかの想定すら難しく、せめて備蓄品だけでも早急に準備を整えなければと、今頃ではありますが痛切に感じております。

熊本地震やその関連でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災され、今も避難生活を余儀なくされている多くの皆様にお見舞い申し上げます。

大失敗

前号の記事に「暖冬のおかげで感染症の蔓延もなく、この冬がこせば」ということを書きました。ちなみに、落穂寮には、「おちほジंकス」なるものが存在し、利用者さんの不調など、職員にとつてあまり良くない状況が改善されつつあるときに、勇み足から「もう大丈夫だと思えます」などの終息宣言をすると、それに応えるかのようにぶり返すのです。そうです、寮の定、今回も私の勇み足で、その記事を書いた直後に女子棟ではインフルエンザウイルスの感染者が確認され、男子棟では感染性胃腸炎の発症患者が続き、終息に向け徹底した衛生管理が必要となりました。おちほジंकスとはいわゆる気の緩みを戒めるものなのですが、今回は管理者の気の緩みが招いた出来事として、最後まで気を引き締めて掛からなければと反省しております。

今年の夏は？

先日の天気予報で、今年はずーニーニャ現象が見られるとの事。近年では二〇一〇年に起きたこの現象により猛暑となりました。一年の漢字にも「暑」と書かれたぐらいで、熱中症になられた方も

五万六千百十九人にも上っています。当寮でもこれまでに何人かの利用者さんが熱中症になって点滴治療を受けたことがあります。しかし、暑いからといって日中活動をしないわけにはいきません。暑い時に適度な汗をかくことも必要な健康管理の一つです。当寮の利用者さんは、十九歳の若者から六十八歳の高齢者までおられ、また、障がいの程度によっても体力や身体機能が違うため、ひとりひとりの状態にあった活動の提供が必要になります。六月の中旬で既に三十度を超す日が続き、この先の日中活動の難しさに思い悩まされそうです。職員間の報・連・相を徹底して、充実した活動を提供していきたいと思えます。

誰に？何に？

正直（しようじき）か

このところ、企業の不正発覚が相次いでいます。マンションの杭工事データ偽装、自動車の燃費データの偽装、免震ゴム、空港の地盤改良などなど。しかもこれらの中には、人の命に関わるものが多く含まれています。「職人気質」という言葉があります。辞書には、「自分の技能を信じて誇りとし、納得

できるまで念入りに仕事をする実直な性質」とあります。これまでの日本人は、どちらかといえばこのタイプが多くおられたのではないのでしょうか。いつの間にか目に見える「結果が全て」が仕事の評価になってしまい、その行程は重視されなくなりました。重視されなくなつたからこそ視られなくなり、疎かになり、見過ごされ、気づいた時には自分達の事だけを見つめるようになってしまつていたのではないのでしょうか。社会全体が本当に大切にしなければならぬ、他人にも自分にも正直になることが必要なのではないでしょうか。一方、私たちが関わる彼らは、まさにこの正直さをもって関わらなければその疎かな部分をすぐに見抜かれ、たちまち私たちは自身を困難に陥らせてしまいます。誤魔化しの効かない分、常にギリギリのところ勝負しなければお互い満足した暮らしとは言えないと思いますし、また、そうでなければいけないのではないのでしょうか。どの職業においても。その仕事に自分なりの誇りとこだわりを持って。

私たちが職員は、明日の笑顔につなげるために。

事業活動計算書

(自) 平成27年4月1日 (至) 平成28年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収 益	障害福祉サービス等事業収益	352,786,496	322,432,790	30,353,706
		経常経費寄附金収益	158,036	153,000	5,036
		サービス活動収益計(1)	352,944,532	322,585,790	30,358,742
	費 用	人件費	239,905,103	222,019,321	17,885,782
		事業費	52,537,552	48,573,698	3,963,854
		事務費	9,494,234	19,156,225	△ 9,661,991
		減価償却費	26,484,227	27,038,904	△ 554,677
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 13,123,065	△ 13,382,854	259,789
	サービス活動費用計(2)	316,788,148	297,268,940	19,519,208	
	サービス活動費用計(2)	315,298,051	303,405,294	11,892,757	
増減の部	収 益	受取利息配当金収益	42,893	33,559	9,334
		その他のサービス活動外収益	7,558,018	10,528,675	△ 2,970,657
	サービス活動外収益計(4)	7,600,911	10,562,234	△ 2,961,323	
	費 用	支払利息	27,400	77,992	△ 50,592
		その他のサービス活動外費用	4,027,384	5,015,315	△ 987,931
サービス活動外費用計(5)	4,054,784	5,093,307	△ 1,038,523		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,546,127	5,468,927	△ 1,922,800		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	41,192,608	24,649,423	16,543,185		
特別増減の部	収 益	施設整備等補助金収益	25,799,000	990,000	24,809,000
		施設整備等寄附金収益	0	835,500	△ 835,500
		固定資産受贈額	120,000	192,024	△ 72,024
	特別収益計(8)	25,919,000	2,017,524	23,901,476	
	費 用	固定資産売却損・処分損	269,383	3	269,380
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△ 161,000	△ 0	△ 161,000
		国庫補助金等特別積立金積立額	25,799,000	990,000	24,809,000
特別費用計(9)	25,907,383	990,003	24,917,380		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	11,617	1,027,521	△ 1,015,904		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	41,204,225	25,676,944	15,527,281		
増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	190,127,746	164,450,842	25,676,904	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	231,331,971	190,127,786	41,204,185	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	
	その他の積立金積立額(16)	10,000,040	40	10,000,000	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	221,331,931	190,127,746	31,204,185	

貸借対照表

平成28年3月31日現在

資 産 の 部	資 産 の 部		
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	222,392,143	160,755,402	61,636,741
現金預金	142,697,856	111,485,889	31,211,967
事業未収金	79,588,376	49,108,225	30,480,151
立替金	50,403	111,288	△ 60,885
仮払金	55,508	50,000	5,508
固定資産	624,938,810	571,044,604	53,894,206
基本財産	501,209,023	456,523,860	44,685,163
建物	501,209,023	456,523,860	44,685,163
その他の固定資産	123,729,787	114,520,744	9,209,043
建物	25,357,880	26,211,560	△ 853,680
建物附属設備	2,480,404	2,855,380	△ 374,976
構築物	3,083,991	3,538,856	△ 454,865
車輛運搬具	3,869,717	5,080,642	△ 1,210,925
器具及び備品	10,738,285	10,348,676	389,609
退職給付引当資産	17,525,978	15,812,138	1,713,840
人件費積立資産	7,000,000	7,000,000	0
修繕積立資産	50,000,000	40,000,000	10,000,000
備品等購入積立資産	3,500,098	3,500,098	0
退職慰労積立預金	173,434	173,394	40
資産の部合計	847,330,953	731,800,006	115,530,947

資金収支計算書

(自) 平成27年4月1日 (至) 平成28年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収 入	障害福祉サービス等事業収入	321,042,000	352,786,496	△ 31,744,496
		経常経費寄附金収入	100,000	158,036	△ 58,036
		受取利息配当金収入	24,000	42,893	△ 18,893
		その他の収入	5,500,000	7,558,018	△ 2,058,018
		事業活動収入計(1)	326,666,000	360,545,443	△ 33,879,443
	支 出	人件費支出	231,816,000	238,191,263	△ 6,375,263
		事業費支出	53,103,000	52,537,552	565,448
		事務費支出	11,193,000	9,494,234	1,698,766
		支払利息支出	28,000	27,400	600
		その他の支出	4,000,000	4,027,384	△ 27,384
事業活動支出計(2)	300,140,000	304,277,833	△ 4,137,833		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	26,526,000	56,267,610	△ 29,741,610		
に施設を整備する整備支等	収 入	施設整備等補助金収入	26,550,000	25,799,000	751,000
		施設整備等収入計(4)	26,550,000	25,799,000	751,000
	支 出	設備資金借入金元金償還支出	3,264,000	3,264,000	0
		固定資産取得支出	43,130,000	68,813,936	△ 25,683,936
		施設整備等支出計(5)	46,394,000	72,077,936	△ 25,683,936
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 19,844,000	△ 46,278,936	26,434,936		
にその他の活動	収 入	積立資産取崩収入	0	646,200	△ 646,200
		その他の活動収入計(7)	0	646,200	△ 646,200
	支 出	積立資産支出	12,360,000	12,360,080	△ 80
		その他の活動支出計(8)	12,360,000	12,360,080	△ 80
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 12,360,000	△ 11,713,880	△ 646,120
予備費支出(10)	0	—	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 5,678,000	△ 1,725,206	△ 3,952,794		
前期末支払資金残高(12)	139,344,000	156,155,732	△ 16,811,732		
当期末支払資金残高(11)+(12)	133,666,000	154,430,526	△ 20,764,526		

(単位:円)

負 債 の 部	負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増減
流動負債	67,961,617	4,599,670	63,361,947
事業未払金	67,132,961	4,070,363	63,062,598
職員預り金	828,656	529,307	299,349
固定負債	17,525,978	19,076,138	△ 1,550,160
設備資金借入金	0	3,264,000	△ 3,264,000
退職給付引当金	17,525,978	15,812,138	1,713,840
負債の部合計	85,487,595	23,675,808	61,811,787
純 資 産 の 部	純 資 産 の 部		
	当年度末	前年度末	増減
基本金	179,097,106	179,097,106	0
第1号基本金	163,080,910	163,080,910	0
第3号基本金	16,016,196	16,016,196	0
国庫補助金等特別積立金	300,740,789	288,225,854	12,514,935
その他の積立金	60,673,532	50,673,492	10,000,040
人件費積立金	7,000,000	7,000,000	0
修繕積立金	50,000,000	40,000,000	10,000,000
備品等購入積立金	3,500,098	3,500,098	0
退職慰労金積立金	173,434	173,394	40
次期繰越活動増減差額	221,331,931	190,127,746	31,204,185
(うち当期活動増減差額)	41,204,225	25,676,944	15,527,281
純資産の部合計	761,843,358	708,124,198	53,719,160
負債及び純資産の部合計	847,330,953	731,800,006	115,530,947

平成27年度決算報告

落穂寮

はじめまして。4月から働かせていただいている黄瀬知里です。

私は小学生の頃から障がいを持つ方と関わる事が多く、私にとって障がいを持つ方々はとても身近な存在でした。また、祖父が病気の後遺症で障がいを持ってしまった時に、人の助けになる仕事が出来たらいいなと思いました。

大学の福祉実習へ行った時、障がい者施設で実習を行ったのですが、皆さん普通に生活しておられ、自立している方が多かったため驚いた事を覚えています。後から話を聞くと支援者が様々な方法を考えて、その方たちが自立した生活を送れるように配慮をされていることを知り、本当にすごい仕事だなと思いました。私には出来るのかとても不安だったのですが、私自身とてもやりたい仕事だったので、家から近いこともあり、落穂寮に就職しました。まだまだ未熟なため、沢山の人に迷惑をかけてしまうかも知れませんが、一日一日、丁寧に仕事をしていけたらと思っています。まだ資格は取得で



▲黄瀬 st と沢さん

きていないので、資格を取得すると共に、質の良い支援が出来るよう精一杯頑張っていきたいと思えますのでどうかよろしくお願ひします。

今年度の4月から男子棟で勤務することになりました、松田翔馬です。私は昨年度の3月末まで、大阪府の障害者支援施設の職員として、約4年間勤務していましたが、大阪からわざわざ!?と思われたかもしれませんが、私自身、元々は滋賀県で生まれ育った経緯もあり、非常に馴染み深い場所です。障害者支援に引き続き携わりたいの思いから、落穂寮と御縁があり、御世話になる運びとなりました。

対人支援技術を利用者様への支援に生かす事が出来るように努力したいと思っています。先輩方に関しましては、ご迷惑をお掛けする事もあると思いますが、ご指導・御鞭撻頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



▲中西 st・松田 st 八島さんと元二さん



▲吉澤 st と中村さん

皆さん、はじめまして。この4月から落穂寮の男子棟でお世話になっていきます吉澤香織です。

以前は看護師として独身時代は病院で働き、子供が産まれてからは、短時間で働けるパートや派遣を選んで仕事をしていました。

その中でも御縁があって養護学校の学校看護師として医療的ケアの必要な子供さんの看護、主に人工呼吸器の管理や吸引、注入などを行っていました。

病院では、ナースコールや心電図モニターの響くなかでいつもバタバ

NEW FACE 2016



▲遠足中の祐規さん

祐規さん19才!!

昨年、高等部卒業後、今年度4月から生活介護利用が始まりました。午前は、ほぼマンツーマンでカングルー班にて歩行されていて、靴を脱ごうとされることはあるものの、がんばって歩かれています。午後からはECO班でマイベースに缶を潰しておられます。まだスムーズに行動に移ることは難しいですが、早く先輩たちと一緒に活動できるようがんばっていきま

タとしていました。しかし学校ではチャイムの音で学校生活がはじまります。親御さんも心配しながらも、子供さんを学校という社会へ送り出し一緒に成長できるこの仕事に喜びを感じ、夢中になったことがきっかけでこの仕事を選んだのだと振り返ります。他にもいろいろ寄り道をしながら、この落穂寮へやってきて、たくさんの方に支えて頂きながら、仕事を憶えようと忙しい毎日をご一緒にいます。今後の自分が利用者さんと一緒に笑顔でいられるような支援を思っていますのでよろしくお願ひします。



▲じゅんさんと西村キーパー

4月から、しいのきホームでお世話になっていきます西村道子です。私が初めて落穂寮に寄せていただいたのが30年ほど前で、まだ児童施設の頃でした。私はB棟に3年間、炊事に1年間お世話になり、当時は10代20代の利用者さんも多く青春真っ只中の皆さんと、元気でパワフルな職員さんたちに囲まれながら毎日を過ごしていました。

そして退職してから27年、今回思いがけなくホームへのご縁をいただき、お世話になることになりました。今年3月まで児童館で子育て支援の仕事をしていましたが、そんな私がホームの仕事ができるの不安もありました。でも、そんな気持ちを吹き飛ばしてくれたのが、何十年かぶりに訪れた落穂寮の暖かく懐かしい空気と匂いを感じた時でした。今思えばそれが決めてだったように思います。やっと3ヶ月が過ぎようとしています。毎日が驚きと戸惑いと笑いの連続です。まだまだ余裕を持つまでにはいきませんが、ホームの皆さんと「のんびり、ゆっくり、ほっこり」とを「目指しながら過ごしていこう」と思っています。よろしくお願ひいたします。

しいのきホーム

落穂寮

男子棟えんそく

うらかな春から初夏の気配に誘われて、今年も広い芝生のグラウンドと山頂近くにあるアスレチックが魅力の松籟公園まで歩行して、美味しいお弁当を計画していた男子棟の遠足。

しかし、今年は前日の雨のため、地面が濡れていましたので、当日の朝に行先がじゅらくの里の芝生広場にあるステージに変更になり、落穂寮をみんなで元気に出発!!

落穂寮から徒歩で出発する人、マイクログラスで出発して途中から歩行する人、利用者さんそれぞれ頑張っってじゅらくの里に集合。

全員が集まったら、お楽しみのお弁当!今年のお弁当は、ボリュウムもあっておいしかったです。

みんなでごちそうさまの後は、それぞれ楽しい時間を過ごしました。



女子棟 *遠足

何処へ向かうのかワクワク心を弾ませつつ職員とお話をしたり、景色を眺めて過ごされています。

さあ!スポーツの森に到着です。皆で芝生の広がる広場へと向かいます。周囲を見渡すと、タンポポの花が咲き乱れ、より一層春らしさを感じさせます。大きなブルーシートを広げてそこで一息ついたあとは、職員と一緒にアスレチックで遊ぶ方、芝生の上をウロウロお散歩される方。昼食まで自由な時間を過ごされています。

沢山動き回ってお腹ももうベコベコです。昼食のお弁当の準備が整ったところで皆さんいただきます!無我夢中で食べられる方もいれば、遊び過ぎてグッタリしてしまい今ひとつご飯が進まない方もおられました。昼食後には皆さんが再び元気良く遊びに行かれたり、岡の頂上を目指して散歩さ

れたりしています。落穂へ帰ってくる時、皆さん少しこんがり肌になっておられました!♪



皆さんが待ちに待った春の遠足が今年もやって参りました。

今年も昨年同様、水口のスポーツの森へ。マイクログラス、エブリー、キューブの3台に別れて出発!利用者さんは車中

通所*遠足

今年から通所利用者は4名に増え、春の遠足も通所の方のみで行く事になりました。

朝まであいにくの天気だったので、急遽野洲川の親水公園に行き先を変更していざ出発!!

普段は通所の方のみで過ごす時間は少ないので、ゆっくと親睦を深められた気がします。事業所内での表情とは違った一面を見ることが出来たので、良い機会になりました。



第66回落穂寮 開寮記念日



祝 30 年！太田施設長

今年も落穂寮66回目の開寮記念のお祝いを多目的ホールで行いました。利用者さん、職員合わせ、総勢80名近くの人数で開催されました。はじめに、施設長よりあいさつを頂いた後、勤続30年になる太田施設長、勤続15年になるサービスマン責任者の三浦st、勤続5年になる事務の太上stの落穂寮を支えて下さる方々が表彰されました。表彰者には、理事長より賞状の授与、利用者さんより花束の贈呈がありました。



祝 15 年！三浦 st

その後、介護福祉士の資格を取得した職員との紹介と金一封の贈与。新人職員3名の挨拶がありました。さて、いよいよお待ちかねのお楽しみ！今回のメニューはスタッフ・ド・チキン、かぼちゃのポタージュ、タケノコのクリーム和え、グリーンサラダ、オレンドジでした。「いただきます！」のあいさつで瞬く間にお皿の上から無くなっていくごちそうたち。おいしさのあまり、箸が止まりません！最後はみんなで「ごちそうさま！」お炊事のみなさん、美味しいご飯をありがとうございます。去年に引き続き、みんなでお祝いできてよかったです。



祝 5 年！太上 st



石部中ふれあい交流 2016 春

今年も恒例になりました、石部中学校

から元氣いっぱいの一学年の皆さんが、ふれあい交流に来て下さいました。春とはいえ蒸暑いくらいのよい天気の中、グラウンドでお互いの自己紹介をしました。

中学生の皆さんが、少し恥ずかしそうに自己アピールされたのに応えて落穂寮の利用者さんもひとりずつ自己紹介。利用者さんは、表情や体で来てくださったことへの嬉しさを表現し、いきなり手をつないだりしてびっくりもされましたが、すぐに慣れた様子で各歩行チームに分かれて一緒に歩行しました。利用者さんの

ペースに合わせて足元に注意したり、車が来たら体を間に入れてくれたりと懸命な姿に感心しました。ありがとうございました。ありがとうございました。

▼日陰をさがして水分補給中



作業窯棟 漸く始動

三月三十一日に竣工を迎えましたが、その後準備を重ね、ようやく動き始めました。ギヤラリーはもう少しレイアウトに時間が必要ですが、ご覧のとおりです。

利用者さんの活動場所でもありますが、皆さんにもお使いいただきたいと思えます。費用はかかりませんので、どうぞ遠慮なくお申し出ください。



泉

新年度が始まりました。これまで作業棟があった場所には新たにギヤラリー兼工房が完成し、また新たな利用者さんと職員も加わって、四月からスタートしています。今年度もよろしくお願ひします。さて、これを書いているのが六月なのですが、思った以上に暑い日が多いです。すでに今年の夏は例年以上に暑いのではないかと、いう予報も出ており、戦々恐々としています。この暑さ、地球温暖化の影響ではないとも言われています。

その対策として石油などの化石燃料の使用を減らしていくという機運が高まっているのは皆さんもご存知の所でしょう。そのような中、落穂寮では今年から湖南市で取り組まれている「こなんイモ・夢づくり協議会」によるサツマイモによるバイオマス発電に協力するためにサツマイモを育てることになりました。主に外作業班が担当となり、畑でイモの世話をしているところです。原子力発電は確かに二酸化炭素の排出は少ないのですが、やはり事故が怖い、だからと言って火力発電に頼っては温暖化が進んでしまう。ですから、太陽光、風力、水力といった再生可能エネルギーが注目されています。またこの取り組みの報告もしていきたいと思えます。

木言

抜いても生えてくる
むしっても生えてくる
邪魔だって？
こっちの方が昔からいるよ
来年もまた生えるから
その次もその次も
どっちが先に
音をあげるかな